

もくじ



今月の表紙
【有LEAD】

事業所データ

◆代表者

代表取締役 都倉 貴博

◆所在地

加古川市平荘町池尻304番地

◆電話

079-441-7935



◆ホームページ

http://www.lead-to-happiness.com

◆表紙写真

- ①学びの宝庫「サイエンスふぁーむ」へようこそ
- ②ハウスでは葉物野菜を栽培
- ③サイエンスファームの様子
- ④(1)みんなで一緒に考えます
(2)水の中にも「学び」があります
- ⑤敷地内にある「畑の図書館」に並べられた図鑑。

2 特集

会社の「やりたいこと」にどう役立つ？
クラウドファンディングをはじめよう！

7 クローズアップ

「働きだす力」を引き出し「職場定着」へ
(一社)ひょうご若者自立支援センター
代表理事 嶋谷 拓雄 さん

9 エッセイ

「ご存じですか？民生委員」
BAN-BANネットワークス株式会社
代表取締役社長 古庄 恵浩 さん

11 会員事業所紹介

ハレルヤ建築事務所
代表 藤原 誠也 さん

12 会議所のうごき

「令和5年度事業計画・予算を審議」 他

13 団体だより

女性会・青年部

15 会議所からのお知らせ

「公用車の入札説明会について」 他

16 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



「自然の中」から「新しい発見の連続」として

「子どもの好奇心」なぜ「何？」は自然の中に豊富にあります。農業を通してこの知的好奇心を育てて豊かな心を持った子供になればいいですね。この話するのは、(株)LEADの都倉貴博社長。稲美町と加古川市平荘町の2拠点のビニールハウスなどで葉物野菜を中心に育て、スーパーや地場産野菜を使う飲食店、ネットなどで卸・販売しています。

以前から「植える」「収穫する」の2点のみの農業体験にもどかしい思いを感じていた都倉さん。「収穫して食べるだけでは一番大切な過程の部分を知りません。せっかく子供たちの好奇心や探求心をくすぐる題材がたくさんあるのに、それらに目を向ける機会を逃してしまっているんです。もったいないですよ。」都倉さんは農業を通して「知識を育てる」ためには直接手に触れて感じてもらうことが大切だと考え、始めたのがサイエンスふぁーむです。「サイエンスふぁーむでは、年間を通して様々な野菜を育て、その時に感じた疑問などを掘り下げることでできます。それは虫に関することもありませんし、そこから知りたいことがもっと広がるかも知れません。子供の探求心は無量大、農業はその探求心と好奇心を広げる絶好の場です」と力を込めます。参加している子どもたちは自分で育てた野菜を家に帰って食べることで好き嫌いが無くなったりと、食卓での家族の会話も増えたりして、都倉さんはその様々な効果に喜びを感じています。「子どもたちが作業中にスマホを気にする姿を見たことがあります。野菜の成長を親子で自由研究にしたり、隣の畝で作業をする初めて会った家族とも話をしたりして楽しんでいきます。『帰りたくない』と言った子どももいるんですよ」と微笑みます。

「子どもも時に何かに興味を持つ」ということはとても大切で、その興味はその子次第で何にでも広がります。『自分で考えて動ける』その熱量でもっといろんなことを追いかけてほしいです。自然は五感を高めてくれる場所、子どもたちにとっては興味がい尽きない場所、そして家族と一緒に楽しむ成長できる場所です。ただの収穫体験だけではない、心を育てる『教育』の場として、是非サイエンスふぁーむにご登録ください」

サイエンスふぁーむでは管理栄養士の資格を持つ妻の澄子さんが、収穫した野菜を使った料理や手作り味噌体験なども開いています。「枝豆が大豆に、それが味噌やきな粉になるということを知らない子ども多い。サイエンスふぁーむでたくさん『発見』を持って帰ってもらえれば嬉しいですね。子供たちが親になってまた子供たちを連れて来る、そんな戻ってきたいと思える場所にしていきたいです」農業教育の力を信じる都倉さんの活動に期待が寄せられます。